

日本液体微粒化学会 研究部会所属
第3研究委員会 「微粒化と噴霧プロセスに関する革新技術調査委員会」
第1回委員会 開催のお知らせ

委員長 小橋 好充 (北海道大学)
幹事 鶴 大輔 (九州大学)

昨今のディーゼル機関においては、一層の熱効率とエミッションの改善に向けた研究開発が加速し、超高圧噴射、超高過給、超高EGRといった今までの常識を“超”える技術とそれらを統合する高度な電子制御技術の開発が盛んです。

そのような革新的な燃焼技術が追い求められる時代にあっても、燃料と空気をいつ、どこで、如何に混合させるかは燃焼設計の基本といえます。また、燃料噴霧の混合気形成に関する諸過程を詳しく知るとは、これらの最新技術を効果的に利用する一助となります。

そこで、本委員会では、ディーゼル噴霧あるいはそれ相当の噴流を対象とした定量的な計測に取り組まれている新進気鋭の3名の講師をお招きして、それぞれの計測手法と得られた成果について話題提供をしていただきます。

日本液体微粒化学会会員の皆様は無料でご参加いただけます。下記の要領で開催いたしますので、奮ってご参加くださいますよう、お願いいたします。

記

日時: 2016年6月27日(月) 14:40-17:10

場所: 広島大学 東京オフィス キャンパスイノベーションセンタ 4階 408号室

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/liaison/katudou/408/>

プログラム:

14:40-14:50 開会挨拶

小橋 好充 (北海道大学)

話題提供

14:50-15:30 ディーゼル噴霧相当の気体高圧噴流における空気導入の可視化計測

鶴 大輔 氏 (九州大学)

15:30-16:10 多噴孔ノズルからの高圧噴射ディーゼル噴霧へのエアエントレイン計測

戸田 直樹 氏 (日本自動車部品総合研究所)

16:10-16:20 休憩

16:20-17:00 PLIF と LIBS を用いた高温高圧噴霧蒸気の濃度計測

小島 宏一 氏 (産業技術総合研究所)

17:00-17:10 総合討論, ほか

以上

返信表（メールまたはファックスでお知らせください） 締切：2016年6月17日（金）
送付先 鶴 大輔（九州大学） E-mail: dtsuru@ence.kyushu-u.ac.jp Fax: 092-583-7593

日本液体微粒化学会 第3研究委員会 出席返信表

ご氏名

ご所属

e-mail アドレス

電話番号

Fax 番号